

推理 3——あなたを助ける方法

クルーザーのウインチを調べていると、千里^{せんり}の頭の中に思念^{イメージ}が流れ込んできた。

どうすればいい？ 早く隠してしまわなければ。しかし……。

遠目に死体を見つめながら、緊張で手が震えていた。

タイタンの遺産はすぐそこにあるというのに。私が最初に見つけたのに。あいつがあんなことを……遺産は山分けにするなんてことを言うからいけないのだ。

遺産はすべて私のものだ。一欠片^{ひとかけら}だって誰にも渡す気はない。だが、しかし……そのためには……。

深く息を吐き、覚悟を決める。

ひどく無謀^{むぼう}な博打^{ばくち}だが……どうせ何もしなければ、遺産は山分けになっていたのだ。もしこの計画が失敗し、バラバラに砕^{くだ}けたならば、私には運がなかったということだろう。だが……もし計画が成功したのなら、タイタンの遺産は私だけのものだ。

きつく目をつぶり、スイッチを押す。ずしんと音が響く。ゆっくりと目を開け、懐中電灯の光を死体の方向に向ける。

そして——私は計画の成功を確信した。

千里 ^{イメージ}「思念が見えました。たぶん、巨岩を落とすところです」

東郷「死体損壊の方だな。どうだ？」

千里「犯人はまだわかりませんが、犯行の流れはだいぶわかってきたと思います」

東郷「そうか。じゃあ、この辺でそろそろランチとしよう。朝からずっと捜査しっぱなしだったからな」

コテージに戻り昼食をとった後。

千里と東郷^{とうごう}は凶器の拳銃を見つけるため、改めて容疑者の身体検査と、島とコテージの探索を行った。しかし、拳銃はどこからも見つからなかった。

千里「たぶん、犯人は洞窟に拳銃を隠したんだと思います。洞窟の中は入り組んでいて、拳銃を隠せるぐらいの小さな穴ぼこもたくさんありますから」

東郷「流石にそこまでは探し回るのは難しい。凶器はいったん諦めて、次の確認に移るか」

夜になると、千里と東郷は連れ立って砂浜に出た。そのまましばらく待っていると、潮が満ちてくる。砂浜と岩場が沈んでいたのは、【2 3時3 0分から2 3時4 0分】の1 0分間。一番水位が高いときには、オーナーの死体を浮かべて運ぶことができるぎりぎりの深さになった。これは昨晚もほぼ同じだったと考えて良いだろう。

満潮時刻の確認を終えると、二人はコテージに戻った。

千里「今日の捜査で、だいぶ容疑者は絞り込めたと思います」

東郷「それはよかった。明日は何を調べる？」

千里 「気になるのは、タイタンの遺産ですね。クルーザーの^{ざんりゅう}残留^{しねん}思念で、犯人は『タイタンの遺産を見つけた』と考えていました。これは皆でリビングに集まった午前4時以前の事です。でも、犯人はどうやって遺産を見つけたんでしょう？」

東郷 「つまり……犯人は^{すおうたいざん}周防泰山が指定した夜明け前、よりも先にタイタンの遺産を見つける方法を持っていた、ということか」

千里 「はい。タイタンの遺産を見つけることが、犯人を特定するための最後のピースになると思うんですが……」

タイタンの遺産。千里も島に来る前に軽く調べてみたが、その実体はよくわからない。

^{すおうたいざん}周防泰山が^{こうせき}鉱石貿易で稼いだ大判小判だ、という噂が根強いが、実のところこの根拠は不明だ。

基本的にタイタンの遺産に関する噂は、^{すおうたいざん}周防泰山が^{あまた}数多いた^{めかけ}妾に送った手紙を根拠としている。けれど、大判小判の噂だけ根拠となる手紙が存在しないのだ。

東郷 「なににせよ、もう夜も遅い。そろそろ寝よう」

千里 「そうですね。明日は何時から捜査します？」

東郷 「まだ子供なんだから、そんなこと気にせずゆっくり寝ろ。起きてきたら^{しんちょう}捜査進捗を共有する」

千里 「わかりました、おやすみなさい。また明日」

東郷 「ああ、おやすみ。また明日」

第二の事件

午前7時。

目を覚ました千里は、すぐに東郷の部屋を訪ねた。しかし返事はない。コテージを探して回るが、どこにも姿が見えない。

胸騒ぎがした。

コテージの外に出て、辺りを見回す。

一見穏やかな風景の中に、わずかな違和感があった。

千里 「巨岩が……減ってる？」

崖の^{ふち}淵に並んでいたはずの巨岩が、昨日より1つ減っている。

胸騒ぎが大きくなる。

慌てて砂浜に下り、巨岩が消えた辺りの崖下へと向かう。

そこに、頭から血を流して倒れる東郷の姿があった。

千里 「そんな……どうして……」

東郷のもとに駆け寄る。

そんな千里の脳内に、^{イメージ}思念が流れ込んできた。

何故だ？ どうしてこいつがこんなことを？

考えている暇はなかった。

背後から忍び足で近付き、近くで拾った石で頭を殴りつける。
二度、三度と殴ると、刑事は動かなくなった。

なんとなく嫌な予感がして、コテージから出る刑事の後を追ってきたのは正解だった。しかし……まさかこの刑事が、私の計画の本当の狙いに気付いたのか？

納得がいかない。昨日一日、それとなくこの刑事の捜査の様子を見ていたが、むしろ頭が切れそうなのはあの高校生の方だった。

だから、百歩譲ってあの高校生が気付くというならわかる。だが、この刑事が……？

何かがおかしい……。私は何かを見落としている？ いや、そもそも私は何か重要なことを知らないんじゃないか……？

私の計画には、何か根本的な欠陥^{けっかん}がある……？

考えても埒^{らち}が明かない。ひとまず、アレを回収して。
携帯は……よし。オーナーのときと同じで、ロックは掛かっていない。ならまた警告文を残しておいて……。
それから、この死体もオーナーと同じ状態にしておこう。

千里が呆然と立ち尽くしていると、声がした。

東郷だ。東郷にはまだ辛^{かる}うじて息があった。

東郷 「聞িয়েくxれ……大事な話がある」

絶^たえ絶^だえに東郷は言う。

東郷 「これ以上……捜査も、推理もするな」

千里 「ど、どうして急にそんなこと……」

東郷 「いいか……犯人の計画には、根本的な欠陥がある。だから、警察がくれば……すぐに事件は解決する」

千里 「ど、どういう意味ですか……？」

東郷 「もう……犯人を探す意味はない。だから……約束してくれ。助けの船が来るまで、もう何も……」

東郷が動かなくなる。千里の脳裏に、短い思^{イメージ}念が流れ込んでくる。

……これでいい。これでいいんだ。

それからのことはよく覚えていない。たぶん、コテージに助けを呼びに行ったはずだ。今、目の前のベッドには東郷が眠っている。

時計の針は10時を指していた。

東郷の息はまだあるが、容^{ようだい}体は悪い。2日後の船まで持ちそうにはなかった。このままでは、東郷は間違いなく死んでしまう。

考えが上手^{まと}く纏まらない。

どうすれば……どうすれば、助けることができる？

▼推理開始

推理3：あなたを助ける方法

東郷を助ける方法は【ある／ない】。

何故なら、東郷の思念に千里の【 】したからだ。
ある意味で、東郷は消極的な【殺人／自殺】を選んだのだ。
それはつまり、裏を返せばあの状況から東郷が助かる方法が
【あった／なかった】ことを意味している。

東郷を助けるためには、【 】人物を見つけなくては
ならない。そして、この島にそんな人物は【いる／いない】。

その証拠は、巨岩を【 】を使って動かしていることだ。

※※※※※※正しく推理するまでこの先には進まない※※※※※※

千里の推理 3

東郷を助ける方法はあるはずだ。

少なくとも、東郷本人はあると考えていた。東郷が気を失ったあの時、千里のサイコメトリーは東郷の思念に反応した。

しかし、サイコメトリーは死と破壊を引き起こした本人の意志にしか反応しない。

だからきっと、あのとき東郷は自分が助かる方法に気付いていたにも関わらず、その方法を千里に伝えなかったのだ。

それは確かに、消極的な自殺と言ってもよい行為だろう。助かることができるのに、あえて死を選んだのだから。

どうして東郷がそんな選択をしたのか？

答えは1つしかない。千里を守るためだ。

東郷が助かるには、今すぐ病院に行き治療を受ける必要があった。そのためにはクルーザーを動かす必要があり、クルーザーを稼働させるには機械に詳しい人物が要る。

該当する人物は1人。犯人だ。

犯人は巨岩をクルーザーのウインチを使って動かしている。巨岩は人力では動かせないのだから、他に方法はない。そしてエンジン式のウインチを動かすには、クルーザーを稼働させる必要があった。

つまり——犯人なら、クルーザーを動かすことができるのだ。

しかし……千里は現場で拾った東郷の携帯電話を開く。

その画面には、オーナーの時と同じように、犯人からのメッセージがメールの下書きとして残されていた。

我が正体を探りし不屈き者には死を。

だいだらほうし
大太法師

千里が犯人——大太法師を探そうとすれば、その行為が犯人を刺激し、東郷のように千里も犯人に襲われるかもしれない。

だから、東郷は何も言わず死を選ぼうとしたのだ。

千里を危険から遠ざけるために。千里を守るために。

▼捜査再開

ここから捜査再開となります。

まず、ココフォリアのシーンを「**第二盤面**」に変更してください。

その後、証拠カード「**第二の事件**」を調べて、東郷が襲われた事件の捜査をしましょう。この調査は、探偵（PL）のみで行います。

マップも追加されているので併せて確認してください。

3枚すべて調べ終われば、資料「**推理 IV**」を公開してください。

1. シーンを「**第二盤面**」に変更
2. 証拠カード「**第二の事件**」を3枚とも調査
3. 資料「**推理 IV**」を公開（最終推理開始）